

しゃっきー



しゃっきーは厚岸町
社協のシンボルキャ
ラクター名です

- 2019年度（令和元年度）事業報告と決算
- 社協の会員会費制度
- 生活福祉資金【特例貸付】申込み受付中
～新型コロナウイルス感染症で生活費にお困りの方が対象～
- 生活支援コーディネーターのウォーキングマップ
- 社協の感染予防対策
- 心和園だより～マスクの寄贈がありました～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護予防教室やふれあい会食会は中止としましたが、参加者を対象にテレビ電話を使って声掛けを行いました。顔を見ながら話すのは、やっぱり楽しいですね！



2019年度(令和元年度)事業報告と決算

5月28日、新型コロナウイルス感染症の感染状況を勘案し、書面による評議員会決議の省略により、2019年度(令和元年度)事業報告と決算が承認されました。今回はその内容を公表します

事業報告(総括)

厚岸町社会福祉協議会では、これまで積み上げてきた実績を抛り所に、地域住民や地域の様々な主体が参画し、福祉課題の解決に取り組むことができるネットワークの構築を目指す生活支援体制整備事業を重点的に進めました。また、福祉ニーズに応えるため、在宅生活を支える訪問介護事業、居宅介護支援事業、通所介護事業の実施や特別養護老人ホーム心和園の施設運営を担い、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現のため、切れ目なく安心できる介護保険サービス経営に努めました。以下、各事業内容を報告します。

各事業報告

1 法人本部事業

(1) 法人運営事業

■役員会等の開催 三役会議/年12回、理事会/年6回、評議員会/年4回、監査/年4回

■部会・委員会の開催 総務・地域部会/年2回、民児厚生部会(福祉相談所運営委員会合同)/年2回、ボランティアセンター運営委員会/年2回、苦情解決第三者委員会/年1回

■内部委員会の開催 法人在宅通所衛生委員会/年1回、福祉サービス検討委員会/年1回、在宅サービス感染予防対策委員会/年2回、広報委員会/年6回

■福祉団体への助成 厚岸町遺族会/70,000円

■広報活動 社協だより/年6回、ホームページの更新(随時)

(2) 地域福祉推進

■厚岸町地域支えあいネットワーク会議の開催 会議/年1回

■緊急情報キット「かけはし」配布事業 実施地区(自治会)/12地区、設置件数/356件

■たすけあいチーム助成事業 助成地区(自治会)/9地区、助成総額/225,000円

■ふれあい会食会 ひとり暮らし高齢者などの交流の場(月1回)の提供、参加者数/延388名(全12回)

■ふらっとニコニコ広場2019 実施日/7月21日(日)、場所/社会福祉センター駐車場ほか、参加者数/275名(集計最大時)

■住民主体のサロン活動支援 活動場所の提供/1団体、レクリエーション指導/年12回

■チャリティービアパーティー 実施日/8月31日(土)、場所/社会福祉センター、参加者数/230名、収益/393,732円

■厚岸町障害者(児)ふれあいフェスティバル「こう福祉21」への支援協力 実施日/11月10日(日)、場所/社会福祉センター
(3) ボランティアセンター運営事業

■ボランティアバンク体制整備 個人登録41名、団体登録/4団体

■ファミリーサポート事業 会員状況/依頼会員33名・提供会員10名・両方会員3名、活動件数/延43件、説明会/年8回(随時)、会員交流会/年1回

■ハートコール事業 利用対象者/4名、コール回数/延164回、協力ボランティア/4名

■災害ボランティアの取組み 炊き出し訓練/5回(自治会単位)

■福祉教育の推進(出前学習会) 実施日/6月27日、対象/厚岸小学校5年、内容/講義「ふくしを学ぼう」と体験「高齢者疑似体験」

[下]厚岸小学校での出前学習会



(4) 資金貸付事業

■生活福祉資金貸付事業 低所得者・障害者・高齢者世帯支援や就労支援を目的に貸付（新規貸付1件）

■低所得者資金貸付事業

貸付援助における生活向上と生活意欲の助長促進（新規貸付4件）

(5) 権利擁護事業

■日常生活自立支援事業 継続件数/2件、新規件数/5件、終結件数/0件（年度末件数/7件）

■法人後見 継続受任件数/7件、新規受任件数/0件、受任終了件数/3件（年度末件数4件）

2 受託事業

(1) 福祉バス運行管理事業

福祉バス「あやめ号」の運行管理運行日数/126日、利用人数/延2,272名

(2) 一般介護予防事業（元気いきいき教室）

健康維持や介護予防を目的に脳トレ、創作活動、健康運動などを行う

第1回(4～6月)湖北/延64名

第2回(7～9月)湖南/延87名

第3回(10～12月)湖北/延76名

第4回(1～3月)湖南/延63名

※一部新型コロナウイルス感染症の影響で中止

(3) 福祉相談事業

地区相談所/各民生委員宅へ常設、中央福祉相談所/隔月1回、無料法律相談/年3回

(4) 成年後見制度推進事業

▽相談対応業務/相談件数51件（うち新規17件）、▽申立等の支援に関する業務/申立支援件数3件（後見3件）、▽市民後見人等の登録/登録者12名（うち1件後見支援員として活動中）、▽市民後見人フォローアップ研修



[上]北星学園大学の岡田直人教授から地域支えあいをテーマに講演



[上]生活支援コーディネーターによる「笑いヨガ」のレク指導

（浜中町）への参加支援1回、▽会議の開催/実施機関運営協議会（年1回）、受任調整会議（年2回）

(5) 生活支援体制整備事業

▽生活支援コーディネーターの配置/職員1名、▽生活支援等サービスの把握/町内サロン活動11件の訪問、▽コミュニティカフェの開催/9回（延348名参加）、▽地域食堂の開催/1回（延110名参加）、▽先進地視察/ボランティア実践者2名・職員等3名参加、▽研修会の開催/1回（92名参加）、▽その他の支援活動/子育て支援団体イベント支援、家計・福祉サービス相談、レクリエーション指導

3 訪問サービス事業

(1) 訪問介護事業

介護保険制度による訪問介護サービスの提供【右グラフ参照】

要介護1[401名]、要介護2[161名]、要介護3[114名]、要介護4[72名]、要介護5[31名]

(2) 第一号訪問介護事業

従前の介護予防訪問介護による訪問介護サービスの提供
要支援1[129名]、要支援2[128名]

(3) 障害福祉サービス事業

障害者の自立支援を目的とした

訪問介護サービスの提供

利用時間/517時間（年間）

(4) 生活管理指導員派遣事業

介護保険非該当高齢者への援助

利用時間/106時間（年間）

(5) 外出支援サービス事業

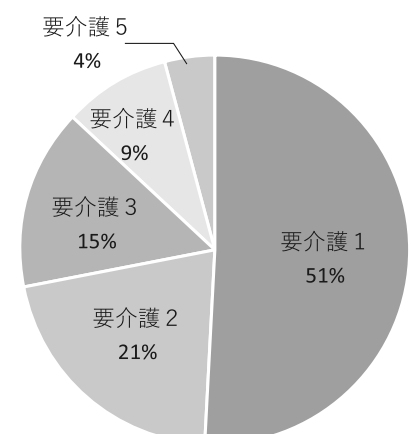
身体障がい者を対象とした福祉車両による病院等への送迎
運行日数/222日、利用回数（片道換算）/延811回

4 居宅介護支援事業

介護保険制度の各種サービス利用に際してケアプランを作成、サービス調整

要支援1[204名]、要支援2[163名]、要介護1[806名]、要介護2[357名]、要介護3[190名]、要介護4[140名]、要介護5[60名]

▼訪問介護事業における要介護認定別の利用比率



5 施設介護サービス事業

(1) 特別養護老人ホーム心和園 (介護老人福祉施設)

介護保険制度による施設介護サービス(多床室：定員50名)の提供利用状況/延17,030名(稼働率93.0%)、各種行事・イベント/45回

(2) 特別養護老人ホーム心和園 (地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護)

介護保険制度による施設介護サービス(ユニット型：定員18名)の提供、利用状況/延6,254名(稼働率94.9%)

各種行事・イベント/26回

(3) 短期入所生活介護事業

介護保険制度による短期入所生活介護サービスの提供、利用状況/延6,576名(稼働率89.8%)

(4) 障害福祉サービス事業

障害者の自立支援を目的とした短期入所サービスの提供、利用対象者/1名

6 通所介護サービス事業

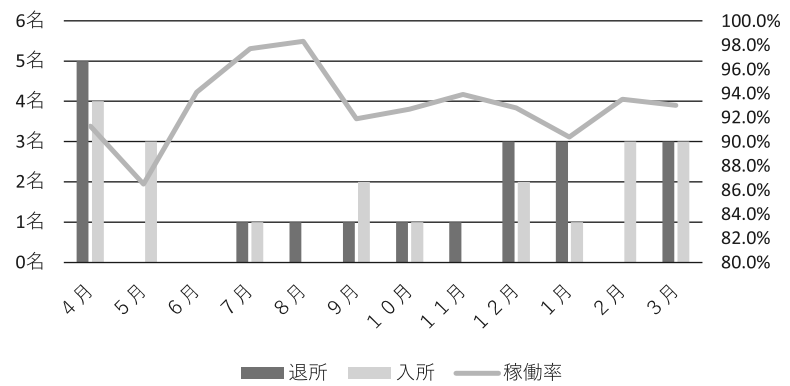
(1) 通所介護サービス事業

介護保険制度による通所介護サービスの提供、利用状況/延6,445名

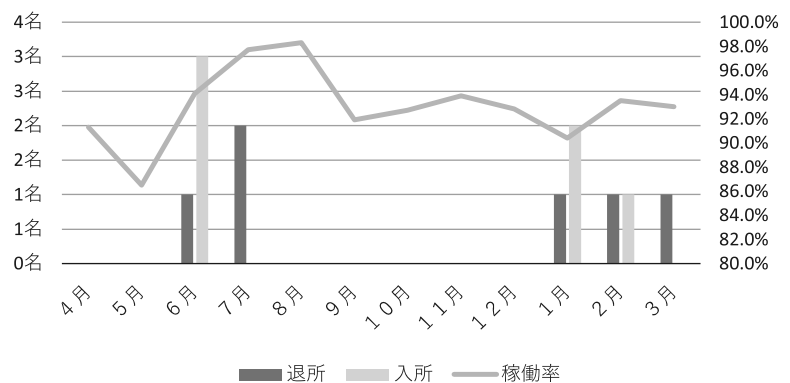
(2) 訪問入浴介護(介護予防含)

介護保険制度による訪問入浴サービスの提供、利用状況/延18名

特別養護老人ホーム心和園(多床室)入退所状況



特別養護老人ホーム心和園(ユニット)入退所状況



(3) 第一号通所介護事業

従前の介護予防通所介護による通所介護サービスの提供、利用状況/延1,334名

(4) 生きがい活動支援通所事業

介護保険制度外による入浴・食事などのサービス提供、利用回数/延216回

(5) 配食サービス事業

65歳以上のひとり・夫婦世帯を対象に食事を配達、利用回数/延492回

(6) 身体障害者デイサービス事業

障害者を対象に入浴・食事・創作活動等のサービス提供、利用回数/延87回

7 福祉センター運営事業

■貸館利用状況

利用件数/681件、利用人数/延16,849名、施設整備状況/自動通報装置取替工事・非常照明等器具補修工事(※工事費10万円以上掲載)



決算の概要

資金収支計算書から資金状況を見ると、通常の事業活動における収入・支出を計上した「事業活動による収支」では、収入計が5億4,934万円。主なものは、介護保険事業収入が87.6%を占め、次いで町補助金等の経常経費補助金収入が4.8%となっています。支出計は4億8,707万円。主なものは、人件費支出で71.9%を占め、事業費で16.6%、事務費で11.3%となっています。収支差額は、6,227万円となり、経常的な事業活動の中では十分な余剰資金を確保することができました。この収支差額の要因は、在宅・施設における介護保険事業での増収によるものです。

固定資産や施設整備に関する収入・支出を計上した「施設整備等による収支」の収支差額では、24時間テレビの車両寄贈などの固定資産の取得、システムリースの計上があり、マイナス671万円の資金不足が生じ、積立金の取崩しや積立てなどの収入・支出を計上した「その他の活動による収支」の収支差額では、運転資金の安定により福祉基金の3,000万円積戻しやほか積立金の積立てを行い、マイナス4,446万円の資金不足が生じています。

これらの資金不足を「事業活動による収支」の収支差額から補てんし、下から三行目の「当期資金収支差額合計」は1,109万円となりました。

このほかの計算書類、付属明細書と財産目録は、ホームページに掲載します。

社協の決算書は、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の3種類の計算書に加え、付属明細書と財産目録で作成されます。今回、掲載する資金収支計算書は、「お金が増えたかどうか？」など、一定期間（会計年度）の資金の増減を表す計算書です。この計算書からは、「予算どおり資金運用できたか?」、「最終的なお金の残高は?」などを確認できます。

か?」など、一定期間（会計年度）の資金の増減を表す計算書です。

この計算書からは、「予算どおり資金運用できたか?」、「最終的なお金の残高は?」などを確認できます。

法人単位資金収支計算書

(自)平成31年 4月 1日(至)令和2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	会費収入	2,301,000	2,347,000	△ 46,000
	寄附金収入	319,000	317,445	1,555
	経常経費補助金収入	26,295,000	26,331,500	△ 36,500
	助成金収入	400,000	420,000	△ 20,000
	共同募金配分金収入	1,041,000	1,041,758	△ 758
	受託金収入	20,057,000	20,135,296	△ 78,296
	貸付事業収入	500,000	104,000	396,000
	事業収入	6,400,000	6,394,752	5,248
	負担金収入	315,000	315,000	0
	介護保険事業収入	475,614,000	481,475,541	△ 5,861,541
	障害福祉サービス等事業収入	4,737,000	4,789,240	△ 52,240
	その他の事業収入	3,735,000	3,789,000	△ 54,000
	借入金利息補助金収入	529,000	528,780	220
受取利息配当金収入	13,000	2,848	10,152	
その他の収入	1,354,000	1,357,306	△ 3,306	
事業活動収入計(1)	543,610,000	549,349,466	△ 5,739,466	
支出				
人件費支出	356,903,000	350,360,668	6,542,332	
事業費支出	84,435,000	80,837,732	3,597,268	
事務費支出	56,737,000	54,850,940	1,886,060	
貸付事業支出	500,000	200,000	300,000	
助成金支出	370,000	295,000	75,000	
支払利息支出	529,000	528,780	220	
事業活動支出計(2)	499,474,000	487,073,120	12,400,880	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	44,136,000	62,276,346	△ 18,140,346	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	6,250,000	6,250,000	0
	施設整備等寄附金収入	6,500,000	5,767,204	
	施設整備等収入計(4)	12,750,000	12,017,204	732,796
	支出			
設備資金借入金元金償還支出	6,250,000	6,250,000	0	
固定資産取得支出	7,607,000	7,606,332	668	
ファイナンス・リース債務の返済支出	4,925,000	4,878,792	46,208	
施設整備等支出計(5)	18,782,000	18,735,124	46,876	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 6,032,000	△ 6,717,920	685,920	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	1,942,000	1,941,015	985
	その他の活動収入計(7)	1,942,000	1,941,015	985
	支出			
積立資産支出	40,102,000	40,101,716	284	
その他の活動による支出	6,476,000	6,304,515	171,485	
その他の活動支出計(8)	46,578,000	46,406,231	171,769	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 44,636,000	△ 44,465,216	△ 170,784	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△ 6,532,000	11,093,210	△ 17,625,210	
前期末支払資金残高(11)	112,800,000	112,800,767	△ 767	
当期末支払資金残高(10)+(11)	106,268,000	123,893,977	△ 17,625,977	

社協の 会員会費制度

みんなで作る福祉のまち

社協は「会員」のみなさまからご協力いただく会費を財源として「住み慣れた地域で、安心して暮らしたい」という思いに応えるため、さまざまな地域福祉活動を行っています。

社協会員とは、これらの目的や活動にご賛同いただき、地域福祉推進のための資金を支えていただく方々のことです。

社協会費にご協力いただくことは、社協のサポーターになっていただき、地域福祉活動に参加するひとつの方法です。

会費の種類

◆ 一般会員会費 年額 500円

町内の各世帯にご協力いただいている会費です。

会費納入には各自治会に協力をお願いしています。

◆ 特別会員会費 年額 1,000円～5,000円

個人、企業、団体などにご協力いただいている会費です。

<詳細については次ページ参照>

会費は
このような事業に
使われています

ふれあい会食会



日中一人で過ごすことが多い高齢者の交流や生きがいづくりの場所として、参加者が増加しています。

コミュニティカフェ



年齢や性別、障がいがあるなしに関係なく、地域の誰もが気軽に集まれる居場所「コミュニティカフェ」を開催。毎回沢山の方が訪れています。

地域食堂



食を通じた「みんなの居場所」をモットーに、地域の方が食事を作り、それを地域の方がおいしくいただきました。

あんしんサポートセンターあつけし

認知症または、知的障がい精神障がいなどにより、判断能力や金銭管理に不安がある方の相談対応や支援を行っています。



令和元年度 会費報告

総額 2,347,000円

一般会員会費

2,888世帯（32自治会） 1,444,000円

特別会員会費

企業・団体・個人 295件 903,000円

特別会員会費の内訳は次のとおり。

◆ 1号会員会費（5,000円）104件

Rスタジオ(株)、秋田歯科医院、厚岸漁業協同組合、厚岸町森林組合、厚岸プロパン(株)、厚岸湊石油(株)、厚岸木材工業協同組合、アールズ綜合法務事務所、池田治税理士事務所、磯田元気水産(株)、医療法人厚浜会うえだ歯科医院、医療法人社団田中医院、運上船舶工業(有)、遠藤プリントショップ、大崎金物店、帯広日産自動車(株)釧路日産自動車厚岸店、貝鮮炭焼大厚岸、堅展実業(株)厚岸蒸溜所、北村商店、吉祥寺、釧路太田農業協同組合、釧路トヨペット(株)厚岸店、栗林電機(株)、小林板金(株)、桜亭、さくらハイヤー(株)、ささき乳販、司法書士赤堀彰治事務所、真栄木材(株)、鈴木旅館(株)、セブンイレブン厚岸白浜店、第一水道工業(株)厚岸営業所、大地みらい信用金庫厚岸支店、大地みらい信用金庫松葉町支店、太平洋設備(株)厚岸営業所、タイヤセンターありはら、田崎土建(株)、土井木材(株)、東岸寺、道東建設工業(株)、肉屋さくち、浜野テント工業、藤田車輛整備工場、北海道マツダ販売(株)厚岸店、法華寺、堀建設(有)、纏鯨、マル勢影本工業(株)、丸弘水産(株)、三ツ輪ベントス(株)厚岸工場、山崎土建(有)、山本菓子店、(株)厚岸調剤薬局、(株)あら川菓子司、(株)共和建設工業所、(株)近海食品、(株)サカイ、(株)佐藤工業、(株)大宝グループ ゴット・スロットパーク、(株)丹野商店、(株)徳田薬局、(株)ナリテツ、(株)西口電機商会、(株)福原厚岸店、(株)ホンダオート厚岸、(株)前田食品工場、(株)丸一タバタ、(株)マルトク、(株)宮川時計電器店、(株)宮原組、(有)厚岸自動車工業、(有)厚岸製函、(有)厚岸清掃社、(有)池田経営サービス、(有)オートショップなかがわ、(有)大場土木、(有)久保自工、(有)佐々木工務店、(有)大厚運輸、(有)中田採石工業、(有)平良木新聞店、(有)曲さ酒井商店、(有)ミナミヤ
會田周二、朝日芳規、朝日芳史、安達由圃、市川淳一、上田幹夫、江幡満、大野繁嗣、柿崎多佳子、葛西松子、小池文一郎、斎藤章彦、齊藤健一、酒井裕之、野呂達雄、馬場光男、早川知記、松見弘文、宮原文憲、若狹純子、若狹靖

◆ 2号会員会費（3,000円）75件

NPO法人のんき村、あきた生花店、厚岸自動車整備センター(株)、厚岸味覚ターミナル・コンキリエ、一般社団法人地域福祉未来創造社、イワキ理容店、小笠原工務店、けらサービス、工房るうぷ、小林建設(株)、小松鉄工所、青花、高橋電気管理事務所、東倉車体興業、トヨタカローラ釧路(株)厚岸店、中村開発(株)、中村小児歯科クリニック、ネットトヨタ釧路(株)厚岸店、ベスト電器厚岸店、ホドノ、ホルモンオバラ、三浦自動車(株)、宮原クリーニング、やすぎ塗装、(株)五味石油、(有)浅野石油、(有)厚岸印刷、(有)厚岸海産、(有)厚岸自販、(有)厚岸マイカーセンター、(有)片岡電器商会、(有)サンケイ朝日尚子、朝日由美、阿部延昭、石澤由紀子、石塚徹、板屋英志、永川浩志、大野利春、大村香織、音喜多政東、尾張清一、桂川実、亀井泰、川越一寿、久保田真次、斎藤章道、佐々木暢彦、佐藤淳一、三粟民子、杉田尚美、鈴木康史、高瀬順一、高橋政一、高橋俊彦、竹田敏夫、田崎清克、渡部貴志、奈尾和哉、中川孝之、中屋敦、布施英治、星川雅美、堀部誠、堀守、本庄祐長、真里谷隆、三浦克宏、水上拓、湊谷政弘、南谷健、山田敏一、四戸岸毅、米内山紘輝

◆ 3号会員会費（2,000円）42件

いなば製麺所(有)、岩井商店、天道療法院、(株)黒田商店
秋田裕子、阿部章子、五十嵐愉美、石澤隆、伊東章、今村拓士、江上圭、久保田湖子、倉部潤子、車塚洋、小池裕子、櫻井唯博、櫻庭康江、佐藤英樹、佐藤弘幸、佐藤竜子、佐藤有佳子、澤田達利、清水琴美、菅原雪子、高橋由紀子、武山悟、千葉隆行、塚田敦子、豊岡重年、鍋田明美、花田亜由子、平下哲也、風呂谷一三、星野英明、本川明子、本川直己、三浦博哉、水野博嘉、森美代子、諸井公、山根綾子、山林雄二

◆ 4号会員会費（1,000円）74件

會田昭人、伊賀智美、石崎辰也、石嶋弘毅、石田秀之、石原かおり、伊藤英樹、上田幸二、内柴孝洋、梅本和法、太田麻利子、小笠原美紀、岡村健太郎、岡本真人、柿崎史裕、柏木由起子、方波見光、金澤一弘、亀井曜子、川谷昇平、川原田恵、菊池浩子、櫛引真由子、工藤克哉、熊谷重美、古賀栄哲、小島貴志、小林真利子、近藤加津恵、近藤法子、佐々木裕行、薩田翔悟、佐藤浩之、佐藤誉裕、佐藤実紀、澁谷辰生、清水勝信、菅原卓己、杉本裕樹、住吉順子、大丸拓也、大門司、高阪拓也、高野弘、高橋由記、谷口裕俊、出越秀、内藤圭吾、中田岳史、中野絹恵、中村明美、畑山智史、福田伊三男、藤本曜大、布施丈弘、太刀野修、堀幸人、本庄将之、本間美和、三浦理子、南谷原基、宮川知香、宮川尚史、武藤エリ、森下高、森村佳太、山城美奈子、山室泰子、山本美由紀、芳賀直人、芳賀宏美、吉田昌敏、吉田剛、余西弘希

新型コロナウイルス感染症で生活費にお困りの方が対象 生活福祉資金【特例貸付】 申込み受付中

北海道社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等で生活資金にお困りの方に、無利子、保証人不要で【特例貸付】を行っています。この制度は、厚岸町社協を受付窓口とし、北海道社会福祉協議会が貸付を行うものです。

《貸付資金の種類》

【緊急小口資金】（休業された方）

■対象

休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のため資金を必要とする世帯

■貸付限度額

1世帯1回限り10万円以内。ただし、以下のどれかに該当する場合は20万円以内まで申込みが可能

- ①世帯員の中に罹患者等がいる
- ②世帯員に要介護者がいる
- ③4人以上の世帯
- ④感染拡大防止策で学校が臨時休校し、子の世話をを行うことが必要となった労働者
- ⑤世帯員の中に個人事業主等がいることなど、収入減少で生活に必要な費用が不足する

■据置期間（返済が開始するまでの猶予期間）

貸付の日から1年以内

■償還期間（返済期間）

据置期間終了後2年以内

【総合支援資金】（失業された方）

■対象

収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

■貸付限度額

単身世帯は月15万円以内
2人以上は月20万円以内

■貸付期間

原則3か月とし、最長12か月以内

■据置期間

貸付の日から1年以内

■償還期間

据置期間終了後10年以内

気軽にご相談ください



郵送前に必ず確認ください

申込み方法とご用意いただく書類について

■申込み方法

申請書類を次の方法でご用意いただき、厚岸町社協へ申込書を郵送してください。

- ①厚岸町社協ホームページから申請書類等をダウンロード
- ②電話にて申込書類の請求

■申請に必要なもの

- ①借入申込書
- ②借用書・重要事項説明書
- ③収入の減少状況に関する申立書
- ④申請者本人の確認書類（運転免許証・健康保険証などのコピー）

⑤世帯全員の住民票（マイナンバー記載なし）

⑥申請者の預金通帳またはキャッシュカードのコピー

■受付

書類到着後、書類を確認させていただきます。万が一不備がございましたら連絡する場合がありますので、ご了承ください。

■送付先・問合わせ先

〒088-1115 厚岸町梅香2-1
厚岸町社会福祉協議会 総務地域課
TEL 52-7752

生活支援コーディネーターの ウォーキングマップ Vol (12)

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染防止のため、普段のサロン活動や自治会活動、そして普段何気なく行って来た友人とのお茶会や立ち話など、人と人とが接する機会が減少し、自宅で過ごす時間が増えていることと思います。

弁当の配布を行いました

社協では、月に1度、町内の高齢者を対象に、ボランティアが作った昼食をみんなで囲む「ふれあい会食会」を行っています。4月のふれあい会食会は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、開催は中止としましたが、見守り活動の一環として「手作り弁当」の宅配を行いました。



ボランティアさんの愛が詰まった「ふれあい弁当」

昼食づくりのボランティアには、検温や体調確認を実施し、いつも以上に衛生面に配慮して作って頂きました。そのかいあって、多くの方から「おいしかった!」と喜ばれました。5月は残念ながら手作り弁当の宅配も中止としましたが、来月からの開催については、状況をみながら、皆さんに案内していきます。

脳トレ集を作りました

弁当の宅配時に、困りごとの聞き取りを行い、普段の外出は病院や買い物で、それ以外は家で過ごすという方が大半でした。今後、外出自粛生活が長期化すると、社会的関係や日常生活活動の減少で、様々な体調変化が起きることが予測され、それに対応する支援が必要となります。

まずは、自宅で過ごすための支援として、「自宅で過ごすための脳トレ集(第1版)」を作成しました。これは、社協が受託している一般介護予防事業の参加者やふれあい会食会の参加者に郵送し、その後、テレビ電話を活用して顔を見ながら会話しました。画面越しではありますが顔を見ながら話すと会話も弾み、最近の出来事など色々な話しをして沢山笑いました。



作製した脳トレ集。社協窓口にもありますので、ご自由にお持ちください。

フレイルにならないために

特に高齢者は、外出自粛により短期間でフレイル(虚弱)状態になることがあると危惧されています。

フレイルとは動かないこと(生活不活発)により筋力の衰えや頭の働きが低下し、歩くことや身の回りのことなどの生活動作が行いにくくなり、疲れやすくなります。さらに進むと要介護状態に陥る危険が。脳トレ集にも掲載していますが、適度な身体の運動と頭の体操を心がけてくださいね!

◇◇ちょっとした困りごとの「相談」「お茶会」のお誘いはこちらまで◇◇
厚岸町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 柏木
TEL 52-7752 FAX 52-6044

厚岸町社協では、コロナウイルス感染症流行以前より感染対策は行っておりますが、現在行っている新型コロナウイルス感染症対策も含めた『感染予防対策』を紹介します。

心和園

【施設内】

- ・居室前に手指用消毒液の設置
- ・居室内の定期的な換気
- ・送迎車両の消毒作業
- ・事務所窓口に透明ビニールカーテン取付
- ・外部業者の入園制限（正門玄関前対応）
- ・施設内面会制限の実施
- ・感染対策委員会を開催

【対外活動】

- ・感染対策委員会の内容を保健福祉課へ報告

【職員】

- ・マスクの着用
- ・出勤前の検温の実施
- ・出勤時の手指消毒
- ・フロア間の移動制限



【利用者】

- ・IP電話を利用した家族面談
- ・ショートステイ利用時の検温の実施
- ・フロア間の移動制限

社会福祉センター

【施設内】

- ・受付窓口に透明ビニールカーテン取付
- ・出入口への手指用消毒液の設置
- ・物品（テーブル・イス）やドアノブ等の消毒
- ・お客様間の一定距離の形成

【貸館利用者へお願い】

- ・体調管理・衛生管理などの実施
- ・マスク着用及び手指消毒の奨励
- ・定期的な換気の実施
- ・座席などの間隔を適度（2m）につくる
- ・施設利用者の把握（必要に応じて保健所などへの情報提供）

デイサービスセンター

【施設内】

- ・館内の定期的な換気
- ・事務所窓口に透明ビニールカーテン取付
- ・営業終了時の館内消毒
- ・送迎車両の消毒作業
- ・外部業者の入館制限（デイ玄関前対応）

【職員】

- ・マスクの着用
- ・出勤前の検温の実施
- ・出勤時の手指消毒



【利用者】

- ・お迎え時の検温
- ・入館前の手指消毒
- ・着席後の検温



訪問介護事業所

【職員】

- ・マスクの着用
- ・手指消毒用ジェル・使い捨て手袋の携帯
- ・業務車両の消毒作業
- ・こまめな手洗いの実施
- ・感染対策マニュアルの掲示
- ・使い捨てエプロンの備蓄

居宅介護事業所

【職員】

- ・外勤後の手洗いの慣行
- ・マスクの着用
- ・消毒液の携帯



厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより

大切に使用させていただきます！

～マスクの寄贈がありました～

特別養護老人ホーム心和園は4月30日、株式会社カーショップオートワンより、不織布マスク900枚の寄贈を受けました。

新型コロナウイルス感染予防のため、医療施設とともに、高齢者が住まいとする特別養護老人ホームなどの高齢者施設もマスクの確保が課題となっています。

今回寄贈のあったマスクを大切に使用させていただき、今後も入居者の安全のために、感染予防に努めてまいります。



㈱カーショップオートワン太田取締役部長（右）から特別養護老人ホーム心和園永川施設長へマスクが手渡されました。

I P 電話を1台増設しました

～厚岸町より臨時増設～

全国の高齢者施設は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ほとんどの施設で面会制限を実施しており、心和園でも2月下旬より引き続き施設内での面会を制限しているところです。

この制限により、ご家族との面会ができなくなったことから、入居者やその家族に精神的な負担や不安を与えることになりかねません。

厚生労働省からも、テレビ通話可能な環境の推奨があり、厚岸町で設置しているI P電話を有効活用できないかと厚岸町に要望したところ、迅速な対応で直ちに1台を増設し、既設とあわせて2台となりました。



入居者のご家族が、I P電話（テレビ通話）の画面越しではありますが、お互いに顔を見ながら話すときの表情はとても嬉しそうで、ご家族ともに安心されたように見えました。

心和園では今後も、安心して面会ができる状況となるまで、I P電話を積極的に活用したいと考えておりますので、気軽に連絡頂ければと思います。

寄付・寄贈ありがとうございます

皆さまの善意ありがとうございます。
(掲載令和2年2月～令和2年5月分)

【寄付金】

▼特別寄付／佐藤武志さん17,000円 (法人運営に)

【寄贈品】

▼法人運営

古切手／佐藤武志さん、古布／石澤スミさん
マスク／㈱カーショップオートワン (心和園に)
消毒液／三浦自動車㈱ (心和園に)

▼心和園

タオル／荻原真知子さん
タオル、オムツ／荒川清隆さん
ティッシュ箱／釧路美容協会厚岸支部

施設内消毒に活用して



三浦自動車㈱代表取締役三浦佳希様より、消毒液40kgの寄贈を受けました。心和園と社会福祉センターで大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

私たちが社協で働いています。

4月1日より、居宅支援事業所で勤務させていただいております。

釧路出身の私は、厚岸町に来てまず驚いたのは町中に鹿が存在し、人を恐れず共存していることです。次の驚きは見事な桜。勤務している福祉センター周辺の桜並木がきれいで心が癒されます。まだ2か月の勤務ですが、自然、動物大好きな私にとって

『厚岸町』最高です。

また、釧路市、白糠町と在宅のケアマネジャーとして勤めさせていただきましたが、地域によってサービスも様々です。一日でも早く厚岸町の特性を学び、ご利用者様、ご家族様が少しでも安心して満足いただける暮らしが継続できますよう、お手伝いさせていただけたらと思います。



在宅介護課
指定居宅介護支援事業所
介護支援専門員
井上 真由美

厚岸町社協広報『しゃっきー』

2020.6/No.175【編集】広報委員会(以下、委員)
米内山紘輝、中野絹恵、杉本裕樹、柏木由起子
熊谷重美、伊藤由弥子、本庄祐長、五十嵐愉美

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会
〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地
厚岸町社会福祉センター内
TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044
mail info@akkeshishakyo.or.jp/